

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」に関する
パブリックコメントの実施結果及び意見に対する区の考え方について

1 実施期間

令和3年10月20日（水）から令和3年11月21日（日）まで

2 意見提出数

25件（8名）

3 意見の構成

	内容	件数
A	エリアデザイン計画（案）に関すること	5件
B	学校図書室、図書館に関すること	4件
C	旧こども家庭支援センター等跡地に関すること	2件
D	綾瀬駅西口地域に関すること	3件
E	公園に関すること	2件
F	交通広場に関すること	1件
G	区民事務所に関すること	2件
H	その他の公共施設に関すること	2件
I	その他	4件

4 意見に対する区の考え方について

別紙のとおり

A エリアデザイン計画（案）に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
1	<p>現在、東口駅前再開発などのハードの整備が整備されているが、ハードがなくてもソフト面でまちづくりをすることは可能なはず。住民が気軽にまちづくりに関与でき、自分たちの意見・活動でまちがよくなっているということが実感できるような仕組みを作れば、よい街になっていくだろう。まずは、気軽に参加できるということが重要。</p>	1	<p>ご意見のとおり、地域の住民の方や事業者自らが気軽にまちづくりに参加できる仕掛けや仕組みづくりが大切と考えています。エリアデザイン計画（案）9ページの「まちづくりの方向性2」で示した「新しいライフスタイルと出会いの場をつくる」の分野で、今後、具体的な取組みを検討していきます。</p>
2	<p>短期的に住みやすさを求めたり、経済的な発展を求めると、便利にはなったけど何かどこにでもある街、隣の駅の劣化版になる恐れがある。</p> <p>交通の便であったり、商業地としての便利さで測れば、どんなに頑張っても北千住などには到底およばないわけであり、違うものさしでの魅力を伸ばす、特徴のあるまちづくりを進めるべき。</p> <p>たとえば、公園などの施設が多いことを活かした、ペットの暮らしやすい街（ペットファーストの街、綾瀬（仮））としてまちづくりをしていくのも一案として提案する。</p>	1	<p>エリアデザイン計画（案）でも記載したとおり、綾瀬ゾーンの特徴を活かした取組みを展開していきます。なお、ペットに着目したご提案については、今後の取組みの参考とします。</p>
3	<p>「第3章（3）まちづくりの取組み」に関して、「重点」と記載されている取組みについては、特に進捗状況を把握したいです。具体的な指標や目標年次を示してほしい。</p>	1	<p>東口駅前交通広場と東綾瀬公園（ハト広場）の一体的な整備については、2024年年10月完了を目標に、旧こども家庭支援センター等跡地の活用については、2024年3月までに活用方針を定め、2027年度に新施設オープンを予定しています。</p>

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
			また、西口高架下空間の活性化については、今後、関係機関と協議を行い、地域の皆様のご意見を伺いながら具体的な取組みを検討し、進捗に応じてお知らせします。
4	「第4章（2）主要な取組みの目標スケジュール」に関して、西口高架下空間について「実現に向け、関係者と協議を進めながら検討する」とありますが、目標年次がないと、地域住民としても進捗状況の把握や協働が困難です。大まかでも目標年次（2021年度計画策定、2023年度パイロット事業着手など）を設定していただきたい。	1	西口高架下空間のスケジュールについては、内容も含め関係者と協議はこれからになりますので、取組みの見通しがついた時点でお知らせします。
5	「第2章（4）これからのまちづくりの視点」の、「重要な課題」の4つ目「歩行環境」に「子育て世代の評価が低い」とありますが、私の意見としては、全体的視野で、子育て環境づくりに取り組んでいただきたい。「教育・文化的な環境づくり」が綾瀬に必要と考える。文化的な環境が整えば、歩行環境も子育て世代の評価向上につながる。	1	ご意見のとおり、子育ての環境づくりは、まちづくりを進めるうえで重要な施策であり、道路、公園などのハード面と教育、文化などのソフト面は、全体的な視野で取り組む必要があると考えています。なお、子育て世代で評価が低かった「歩行環境」については、まず、駅前通りの駅前交通広場から綾瀬小学校までの区間の歩道の拡幅に取り組んでいきます。

B 学校図書室、図書館に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
6	可能であれば、簡易的なものでも構わないので、同じ（近い）エリアに「図書館」が必要と感じています。綾瀬近隣の学校では、「読書」に	1	現在、足立区内には15箇所の図書館があり、区内の全域的な配置は充足している

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
	<p>力を入れた取り組みをしてくれています。私自身、教育関係に携わり、子育てをしている親である身ですが、「読書」は学習の基盤の一つであると考えます。しかしながら、足立区の図書館は、駅から距離のある所が多く、なかなかアクセスしにくいと感じております。所得層が多様な綾瀬地域で、誰しも簡単に本を手にとる機会が増えれば、より豊かな地域になると思っております。</p>		<p>ため、綾瀬地域に新たな図書館を整備する計画はございませんが、計画（案）のとおり、改修後の綾瀬小学校図書室を活用して子どもが本とふれあえる場所を整備します。</p>
7	<p>これからどんな街をみんなで作るのか考えたときに綾瀬に43年暮らしてきましたが子育て関係の施設が足りませんでした。</p> <p>現在、足立区は昭和時代に策定した図書館構想がそのまま生きていて区内15ブロックに1か所あるので図書館は増設しないと頑強に主張しています。若い子育て世代が子育ての柱の一つに本と触れ合える環境を作ることは重要と考えます。</p> <p>現在、建設中の綾瀬小学校の図書室を児童に開放すると発言しているが幼児や中学生また大人特に高齢者などの図書への要望には応えられていません。小学校の図書館は在校生の利用になると思います。</p> <p>特に地域における図書館の位置づけは昭和の時代とは様変わりしています。今、求められているのは単に図書の貸し出しだけでなく地域のコミュニティの中心の役割が求められています。</p> <p>図書館を核に幼児や児童、一般の大人や高齢者、また、趣味のサークルとか各階層の方が集える場所にしてほしい。</p>	1	<p>現在、足立区内には15箇所の図書館があり、区内の全域的な配置は充足しているため、綾瀬地域に新たな図書館を整備する計画はございません。今年1月の綾瀬エリアのアンケート結果で、図書館を希望している方の自由意見を分析したところ、子どもが安心して過ごせるなど居場所を求める声が多いことがわかりました。よって、区としても、こうした居場所づくりに取り組み、まずは、勤労福祉会館、地域学習センターなどの既存公共施設や旧こども家庭支援センター跡地などを活用して、さまざまな世代の方々が活動できる「場」や「機会」を充実させていきます。</p>
8	<p>2014年以来の綾瀬エリアデザイン説明会だったが、30年前から地元が希望してきた文化的な環境整備は実現するのか疑問を感じた。綾瀬小図書室を未就学児親子に開放するという案は、週末に利用可能な親</p>	1	<p>綾瀬小学校図書室の未就学児の平日利用については、開放後の利用状況を見ながら、検討していきます。</p>

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
	子と利用不可能な親子の区分を意味しており、週末限定の条件が逆効果を生む恐れがある。就学前から本に親しむ場もなく育った人が多い綾瀬に、治安が悪いイメージが広がっているのは無関係ではないと思われる。何とか運営上の工夫をして、綾瀬小で未就学児親子の平日利用ができるよう検討してほしい。		
9	<p>学校図書室を活用した子どもが本とふれ合える場所の整備について、私は、中央図書館が管理運営するとのことですが、私は地域開放型の学校図書室（ただし小学生や幼児とつきそいの大人のみ）と理解しました。そこで、要望として、綾瀬のまちの宝である子どもたちが安全に、そして、安心して本とふれ合えるよう、専門の図書館員を、施設開放時常時配置してほしい。</p> <p>できれば、新しい本の選定基準の公表や子どもが本と出会える場所についての基本的な理念等を事前に住民に説明していただければよいと思います。</p>	1	綾瀬小学校・地域開放型図書室（土・日・祝日）の運営にあたっては、利用時間中は常時、業務委託によりスタッフを配置しますが、資格の有無については検討していきます。また、開設にあたっては、事前に地域の皆さんへチラシやホームページ等により説明するよう努めます。

C 旧こども家庭支援センター等跡地に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
10	旧こども家庭支援センター等跡地施設には、気軽にイベントやスポーツを楽しめる場を作って下さい。早めに大枠の計画を提示し、様々な年代の住民が意見を交わせるよう検討会等（Web 上も）を開いて頂きたい。この経過がこれからの暮らしやすさに繋がっていくと思う。	1	旧こども家庭支援センター等跡地の活用方法につきましては、今後、できるだけ多くの皆様のご意見を伺いながら検討していきます。

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
11	<p>文化的環境づくりについて、旧こども家庭支援センター等跡地の活用のとりくみを具体化するにあたっては、「教育・文化施設の設置」を望みます。乳幼児、児童、生徒、学生、若者、父親、母親、老人、そして障がいのある人等の誰もが、それぞれに安心して過ごせる場所（仮称：多目的施設）をつくっていただきたい。現存の勤労福祉会館は働く人の為に大変役立っている。このような場所が働く人々以外にも設置されることにより、綾瀬のまちの弱みの評価向上につながると考えます。公民連携の際、上記を考えた民間事業者を導入していただきたい。</p>	1	<p>旧こども家庭支援センター等跡地については、さまざまな世代が訪れ、交流する施設となるよう、多くの区民のご意見をお聞きした上で活用方針の具体化を図り、事業者募集に取り組んでいきます。</p>

D 綾瀬駅西口地域に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
12	<p>勤労福祉会館については、図書貸出しなど利便性の高い施設であり、西口周辺における拠点施設として期待されますので、「第4章（2）」で、西口高架空間の「取組み」欄に、組み入れていただきたい。</p>	1	<p>ご意見のとおり、勤労福祉会館は、綾瀬駅西口周辺における拠点施設ではありますが、「西口高架下空間」の取組みではなく、方向性2の「新しいライフスタイルとの出会いの場をつくる」取組みとして進めていきます。</p>
13	<p>綾瀬駅西側口側、綾瀬川までの活性化の優先順位の見直し。 若い方々の人の流れを変え、立ち止まる（滞留できる）。新たに、ハコモノを作ること望んでいるわけではありません。せつかくある、今のハコモノにまずは人が流れ、立ち止まり、時間を使っただけのこと、からのスタート（あるいはリスタート）で十分と考えます。 西口からのJR/地下鉄のガード下について、綾瀬駅から小菅の合同宿</p>	1	<p>綾瀬駅西口から伊藤谷橋までの区道の照明は、区が定める基準以上の明るさを確保しており、また、JRと東京メトロの高架下についても同等の明るさであることを確認しています。今後は、明るく感じる魅力的な空間づくりを検討していきます。</p>

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
	舎郡への若い方々の人の流れをなんとか伊藤谷橋の間につなげられないか。街灯を追加して明るくするなど。		
14	綾瀬川東側護岸について、現在、東京都による護岸工事中なのは重々承知しておりますが、鉄道橋と綾瀬新橋の間を、交通安全の観点から、犬連れを含む散歩コースなどにしてほしい。	1	綾瀬川東側の河川管理用通路の活用につきましては、今後、河川管理者と協議していきます。

E 公園に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
15	最初から100点をめざすのではなく、アジャイル的なアプローチで、少しずつすすめていくのがいい東綾瀬公園やしょうぶ沼など公園は多いが古く冷たい印象。夜は特に暗く、怖くて入りたくない。街灯を工夫するだけでイメージの良いより素敵な公園になると感じる。	1	公園の照明は、東京都または区が定めた基準以上の明るさを確保しています。なお、イメージの良い素敵な公園となるよう、今後も努力していきます。
16	アンケートによって、綾瀬地区の弱みと強みがある程度認識できたが弱みについていうと、エリア外からの治安の評価などは、いまだに30年前のコンクリート事件の風評がぬぐえず、これを完全に払拭するのは難しいと思われる（「綾瀬 治安」と検索すればコンクリート事件についてでてきてしまうので）。 駅前の歩行環境の改善についても、中長期的にはすすめていくべき課題だが、ハードの整備に該当するものであり、短期的には改善が難しい問題である。こういった、弱みに注目して施策をすすめていくよりも、現在強みとして認識されているものをさらに強くしていくところが重要。 特に都立東綾瀬公園は、駅の至近にある都市型公園としては有数の規模であり大きな強みである。これを活かし強みを強化していくべき。	1	区としても頂いたご意見と同様に強みをさらに伸ばしていきたいと考えています。特に東綾瀬公園のポテンシャルを最大限引き出すことを視野に入れ、まずは、ハト広場の改修とあわせて利用について東京都建設局と協議していく予定です。

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
	<p>現状はエリア外からの来訪者はかなり少ないと思われるが、定期的なイベントの開催を行ったり、土日のみ縁日の屋台のようなエリアを柔軟に設けるなどして、エリア外からの来訪者を増やせば、公園の評価だけでなく、地域の商店などへの経済効果も見込める。</p> <p>足立区で一番の公園都市から、城北エリアで一番の公園都市、都内で一番の公園都市をめざしたまちづくりを行うべき。そうすれば、綾瀬といえばコンクリート事件ではなく、東綾瀬公園、といった状況に変わっていく。また公園まわりを良くすることは、地域住民の福祉にも資する</p> <p>東綾瀬公園は直接的には東京都建設局の管轄になるのかもしれないが、区や住民として働きかけていく必要がある。</p>		

F 交通広場に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
17	<p>駅前の交通広場の計画案についての意見は、現在、綾瀬駅東口のタクシー乗り場には長いときは、綾瀬小学校のプールの脇の方まで乗客待ちのタクシーが並んでいます。計画案ではバス乗降場、タクシーのプール場（6台くらい）と書いてあります。これでは現在の乗客待ちのタクシーの列は解消しません。雨の日は、通勤者の乗用車での送迎が多くなり駅前は大変混雑して危険な状態は何一つ解決しないのではない。</p> <p>交通広場と武道館への通路になっている公園を一体的に活用すると説明がありましたがこれを全体を交通広場（ロータリー）として活用してほしい。</p>	1	<p>東京武道館へつながる公園部分は、交通広場周辺の歩行者の空間として整備する予定です。なお、交通広場整備後、駅前通りにタクシーの滞留が残らないよう、今後、タクシー事業者と協議していきます。</p>

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

G 区民事務所に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
18	駅前開発エリア内に、「役所(区民事務所)」は入れていただきたいです。学校改築により「区民事務所」が移設されてから、不便を感じている住民は少なくないと思います。改めて、駅の近く、かつ、バス停や駐車場を設けた旧「区民事務所」の存在の有り難さを感じている所であり、ます。高齢者や子育て世代には勿論のこと、通勤通学中に立ち寄ることを考えても、ぜひお願いしたいです。	1	東口駅前開発エリアへの区民事務所の設置は、土地利用の制限やコストとの比較から難しいと考えておりますが、できる限り利便性の高い場所へ配置できるよう検討していきます。
19	エリアデザイン計画で公共施設は旧こども家庭支援センター等跡地に計画しようとしていますが綾瀬駅には電車や多くのバス路線が集約されていて多くの方が利用しています。駅前に交通広場として1200平米を足立区が取得したわけですので区民事務所の窓口を作っていただくと多くの住民に喜ばれると思います。説明の時に要望したら交通広場は地目が道路になるので建物をつくることができないと答えていました。北千住駅前や松戸駅前などロータリーの上部に広場を作ったりしています。道路の上にビルが建設されている場所（虎ノ門）などあると思います。何とか実現できるように検討をお願いします。	1	虎ノ門などと違い綾瀬地域で道路上に建物をつくることは、都市計画法や建築基準法上かなり難しい状況であるため、駅前交通広場の上部に区民事務所を整備する予定はありませんが、できる限り利便性の高い場所に設置できるよう検討してまいります。

H その他の公共施設に関すること

番号	意見概要	件数	区の考え方
20	「江戸一・万来館」跡地について、現状として、空き家状態になっており、治安面では大きな不安材料であります。ぜひ、その広い敷地を区民のために役立てていただきたいです。一案ではございますが、スポーツ施設を提案いたします。「すいすいランド」での水泳施設、「東京武道	1	綾瀬駅周辺では、区民サービスに必要な公共施設は一定程度充足しているため、ご提案されている「江戸一・万来館」跡地など民間用地を購入して新しい施設を整備す

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
	館」での武道施設、「東綾瀬公園」内での数々のグラウンドやテニスコートがございます。そこで、室内競技のできるスペースがあれば理想的かと考えます。少子化とは言われる中でも、足立区では多くの子供達が健やかに育っています。しかしながら、道路や公園では、かつてのように縦横無尽に遊ぶ事ができないのが現状です。各公園での球技禁止、騒音問題、道路交通法等々、多くの規制を受けながら、コロナ禍で、さらになすすべのない可哀想な状況です。体育館は図書館と共に存在している所が多いと思いますが、アクセスしにくい場所ばかりです。人数や時間を調整しながら解放していただけるような「室内遊技場」があれば、老若男女に渡り、健康な心と身体が作れるのではないかと。		る計画はございませんが、さまざまな世代の人々が健康な心身を保つことのできるまちづくりについては、検討していきます。 今後は、綾瀬駅の東口周辺だけでなく西口周辺も含めた一体のエリアとして、民間開発を誘導するまちづくりを進めていきます。
21	綾瀬駅で綾瀬に図書館やコンサートや各種の発表会ができる300人規模のホールの建設について署名のお願いをしていると、綾瀬には図書館がないのですかと驚く人が大勢いました。音楽をする方は発表会ができないのでぜひホールは作ってほしいと賛同をしていただきました。	1	ホールについては、旧こども家庭支援センター等跡地の計画の中で検討していきます。

I その他

番号	意見概要	件数	区の考え方
22	環七南北のつながりについて、駅前開発地域（環七北側）としょうぶ沼公園がつながるように計画してほしいです。例えば現在の駅と薬局福太郎の間の道路を歩行者専用にして、環七の横断歩道を駅入り口前から公園とつなぐ歩行者専用道路前まで広げると良いと思います。さらにその歩行者専用道路は環七北側と南側が緑でつながり、公園へ誘うような植栽デザインで演出してほしいです。	1	現時点では、駅付近の交通ルールを変更してしょうぶ沼公園へ誘導することは難しいと考えておりますが、ご提案いただいている「歩きやすい道路」の視点と「公園へ誘う」という視点については、今後の北綾瀬駅周辺のまちづくりの参考にします。

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画（案）」のパブリックコメント意見に対する区の考え方

番号	意見概要	件数	区の考え方
23	メトロの森について、メトロ車両基地の南側にはグランドのように広い敷地があります。地域へ解放してほしいと願っていますが、時々車両が停まっているので業務上困難であろうと推察します。であれば、南側の植栽部分を一部メトロの森として地域に開放してほしい。植栽管理を地域と行い、地域コミュニケーション形成につなげます。	1	ご提案いただいた東京メトロ車両基地の一部敷地を活用した地域コミュニケーションの形成については、東京メトロと北綾瀬駅周辺のまちづくりを協議する際の参考にします。
24	北綾瀬駅から徒歩15分くらいまでは徒歩圏で通勤通学の歩行者も多く、これからも増えると思います。その範囲は用途地域を商業・住宅のみに制限し、工業地域にしないでほしい。駅から5分程度の場所でも大型車両が出入りのために歩道を横断し、心理的に落ち着くことが出来ません。神明につながる道路に関しては拡幅工事が計画されていますが、北に住居地域があるにもかかわらず、駅との間に工業地域があるため、粗大ごみ収集業者の持ち込み車両や、トラックの出入り、コンクリートミキサー車の出入りなど大型車両が多く、落ち着きがなく残念です。駅と歩行者の動線を考慮した用途地域の見直しを是非検討お願いします。	1	準工業地域が指定されている東京メトロ車両基地敷地周辺の用途地域の変更は、現在の車両基地や工場等の土地利用を一体的に転換する開発計画がないため、当面の間は難しいと考えます。現在、東京都が進めている都市計画道路補助第109号線の整備により、歩行者の安全確保を図っていきます。
25	駅前商業施設について、個人的には図書館を核とした複合文化施設が欲しいですが、北綾瀬には環七沿いである立地をいかしてアリオのような複合商業施設が誘致できると良いと思います。	1	北綾瀬駅前商業施設の誘致については、区として平成30年に策定した北綾瀬ゾーンエリアデザイン計画に基づき取り組んでおり、令和3年10月に、三井不動産株式会社と商業施設の整備について基本協定書を締結しました。今後、事業の進捗に応じてお知らせしていきます。